

Message from the Environmental Management Representative

環境管理責任者メッセージ

ジャトコは電動化事業など環境性能に優れた商品・サービスを提供すると同時に、環境負荷の低い生産・物流プロセス構築にも積極的に取り組んでいます。従業員一人ひとりから経営層までが一丸となり、環境視点に沿って主体的に活動することで、持続可能な地球環境に貢献します。

ジャトコ株式会社
専務執行役員

荒井 孝文



近年、地球温暖化に起因する大規模な干ばつや洪水といった自然災害が身近に迫り、地球環境問題への取り組みは待たなしの状況です。ジャトコは、環境負荷低減に向けた取り組み事項を記した「環境マネジメントプログラム」を年度ごとに設定し、「環境目標」の実現を目指しています。また、ISO14001事務局が中心の環境委員会などを通じて毎年度の取り組み結果をレビューし、次年度以降の目標を設定することで環境パフォーマンスの継続的改善を図っています。

ジャトコはトランスミッションの多段化やハイブリッド化など、環境配慮型商品の開発に力を入れてまいりました。2021年6月に発売した「Jatco CVT-X」は、ツインオイルポンプの採用などにより、これまで実現が難しいとされていた伝達効率90%の壁を越え、最高レベルの燃費性能を実現しています。来たる電動化時代に向けても、ジャトコの強みである車両適用開発の経験、ギア的设计・加工技術、高品質の量産技術などを生かし、e-Axleなど、電動車両に新しい価値を提供する商品の研究・開発を行っています。

工場では、生産工程の設備状態を常時見えるようにすることで、「止まらない工場」を目指しています。ジャトコは原材料の購入後、粗材、加工、組立、検査、出荷に至るまで一貫生産して

いるため、途中で生じたエラーにより生産が止まれば後工程に影響が出てしまいます。設備の稼働状況が早期に分かれれば、ロスの発生源や種類、課題が明確となり、1台のユニットを製造するために消費するエネルギーを最大限削減でき、OEE (Overall Equipment Effectiveness: 設備総合効率) 向上にも寄与します。

さらに、工場内でのエネルギーの最小化を目指し、エアブロー工程へパルスブロー装置の導入やポンプ、ファンなどのインバーター制御化、盤内用・生産用照明などのLED化、空調の最適化などの省エネを推進。また、代替エネルギーや再生エネルギーなどのクリーンエネルギーを調達することでエネルギー転換を進め、使用するエネルギーの脱炭素化を進めます。トランスミッションには多くの鋼材が使われています。例えば、デファレンシャルギアは鋳鉄、シャフトは鍛造から作られています。この課題はパートナーを含めた技術的なブレイクスルーに挑戦します。

地球環境保全のため、クルマの電動化はこれから一層進んでいくでしょう。電動化商品に対しても環境対応を推し進めるため、新たに生産技術の担当者らで発足したeパワートレイン推進部を中心に、既存のアセット・リソースを最大限活用しながら、電動化商品の設計から生産、品質までを見直します。

環境負荷低減に向けては、グリーンな物流も重要な課題のひとつです。部品輸送時のCO₂排出量を削減するため、輸送を鉄道やフェリーへ切り替えるモーダルシフトの推進や、混載による積載効率の向上などを推進。

さらに、商品の設計段階から3R (Reduce, Reuse, Recycle) の視点を取り入れ、循環型社会の実現を目指しています。また、地球規模の水枯渇対策としては生産時の水使用量を把握し、毎年2%の削減に取り組んでいます。

ジャトコは生産拠点をグローバルに展開しています。ジャトコメキシコ社や、中国のジャトコ広州自動変速機有限公司、ジャトコ蘇州自動変速機有限公司、ジャトコ タイランド社といった海外の生産拠点においても、環境推進の方向性には変わりはありません。

地球環境を守ることは、人の生活の基本を守ることです。その基本の上にモビリティの進化があると思います。私は環境管理責任者として、地球環境の保全に向けた取り組みを強化してまいります。